

金沢大学ホームページの紹介



金沢大学は、平成9年2月14日に、大学として公式のホームページを開設しました。これまでも、総合情報処理センターをはじめ、学部や研究室などの単位で開設されたホームページはありましたが、大学全体として認知されたページができたことにより、各教職員の地域に根ざそうとする意識、そして世界に伸びようとする意識の面において、非常にいい刺激となっていると思います。

このホームページを作ろうとして動き始めたのは平成7年の12月です。まず、「部局長懇談会」において、インターネットを活用した情報発達の必要性が確認され、委員会を設置して基本的なルールや管理の在り方を検討することに

しました。それが「マルチメディア情報検討小委員会」（委員長＝和田敬四郎教授（理）以下8名）で、全4回にわたって、ルールづくりや今後の方向性などについて検討を重ね、平成8年7月19日に「金沢大学における情報発信等に関する基本方針について」の答申をしました。これを受けて、同年9月6日付けで“基本方針”が学長から全学に向けて通知されました。

学長通知は、要約すれば、①マルチメディアによる広報活動を推進する。②情報の適切さ、正確さ、新しさに留意する。③大学、学部、学科、研究室等の各レベルで責任をもって管理する。④公序良俗に反する情報は発信しない。の4項目となります。そして、この基本方針の下に、上述の“和田委員会”の意志を引き継ぎ、公式のホームページを作成し管理していくことを任務とする委員会が誕生しました。それが、「金沢大学「公式ホームページ」専門委員会」（委員長＝須原正彦教授（総合情報処理センター長）以下16名）です。

専門委員会では、「公式ホームページ」の開設に向けて、いよいよ具体的な話し合いが開始されました。平成8年末までに公開したいという目標を設定したのです。16名の委員は、通常の業務がある中で、精力的に会議を重ねました。委員会の役割、ホームページの構成、作業の分担など、形のないものを作り上げることは大変でした。公開に向けての仕上げ段階には予想以上の労力が必要で、目標からやや遅れはしましたが、平成9年1月6日に学内向けに公開し、更に微調整した上で、同年2月14日、ようやく一般に公開されるに至ったのです。

しかしながら、公式となった「金沢大学ホームページ」にも、問題がないわけではありません。いや、解決しなければならない数々の課題があります。情報を適格に分類して分かりやすくしたい。画面の統一性と個性とのバランスも難しいです。改善に向けての更新作業の分担や必要経費の確保の問題。これらの問題を、専門委員会と事務サイドが協力して解決し、より魅力あるホームページにしたいと考えています。

インターネットの利用が一般家庭でも“通常”となっている今日、いろいろな活動主体がそれぞれに、ほかには負けじとPR合戦を繰り広げています。地域に根ざし、世界に伸びゆく大学の一つの象徴にもなり得る「金沢大学ホームページ」は、いずれ高校生、地域住民、企業関係の皆さんから、「見るのが楽しい」、「のぞくと何か得をする」と言われるようになり、そして何よりも皆さんの要望やニーズの一つひとつにお応えするうちに大学そのものが活性化すれば、こんなにめでたいことはありません。皆さん、今すぐ「金沢大学ホームページ」をご覧になり、そしてそれぞれのページに示すEメールアドレスまでご感想をお寄せください。

金沢大学ホームページ“KUPIS”の特徴

1. ボリュームいっぱい大学情報を満載
2. 硬くなりがちな情報をソフトに加工
3. 月単位のフレッシュなニュースも極力掲載
4. 見たいページへすばやく的確にアクセス
5. 多くのハンドメイド画面で親しみやすさを確保
6. 意見等をお寄せいただく“双方向性”を採用

（文責： 庶務課 研究協力・広報係長 池端 良伸）